



ぼやっとした段階でも、検討進められると
いうところで、本当に今後もですね、いろ
いろご協力いただけるとありがたいなと。

株式会社 日本カスタマーズプロダクト(仮名)より、注文管理システムの試作の外注に至った経緯を伺った。

※ お客様のご希望により、仮名となっています。また、事業内容等の詳細は割愛させていただいています。写真も、お客様の機密の保持のため、類似案件のものを使用しています。ご了承ください。

---- アウトソースを考えたのは、いつごろどんなきっかけでしたでしょうか？

(立浪) 最初のスタートは去年の8月ぐらいでしたっけ。

---- そうですね。

(立浪) 多分2ヶ月ぐらい前から、こんなことやんなきゃっていうのがありまして、当初はありものですね。予約システムみたいなのでいいかなと思ってたんです。

ただ、顧客1人1人の情報確認をするところがなかなか難しい。予約だけみたいな。

ちょっと既存の予約のツールはなかなか難しいなというところで、だったらちょっとどこまで行けるかわかんないけど、自分たちでやってみましょうかみたいなところがきっかけになります。

通販のこういうシステムあるじゃないですかとか、世の中にあるものを例に引きながら説明して下さったのは、すごいわかりやすくてありがたかったですね。

---- きもと特急電子設計を、いつどうやって知りましたか。

(立浪) それはあれですよ、何年前の展示会で、ひときわシンプルなブースに木元さんが立ってらっしゃったので(笑)。

---- 確かそのときは、全然違うお話で来られたんですよ。

(立浪) そうですね。その時は違うこと意図してたんですけど、そのときのインパクトがあまりに強すぎてですね。

いや私もね、別の仕事で組み込みのソフトとかを書くところに居合わせたことがあって。極めて時間とお金が異常にかかる世界というのを意識してたので。

そこに対して木元さんは、そうじゃないんですってということをおっしゃっていただいたのがすごく印象的で、仕様なんて別に要りませんと。

「二言目には仕様がないからできません」みたいな世界のところでよく仕事してたんで。

---- 第1印象はいかがでしたか。

(立浪) 私も大きい会社から小さい会社まで知っているの、あえて1人でやられてるということは相当な実力者なんだろうなと。

(浅倉) やりたいこと、何か盛り込みたいこと、何でも言ってみたいなスタンスでお話して下さったのが、すごい印象的だったのと。結構壮大なことを言ったのかなっていうのがあったんで。

こういうシステムを依頼したってなったときに、そのシステムを作ってくださるだけじゃなくて、どう運用したいのみたいな、なんか、作業性とかこの先私達が見ているところまで一緒に考えてくださるみたいななんかありがたいなと思います。

こちらも、仕様書があんまりなくても、わかってくださってやってくださってるっていうのが、私にとってシステム開発初めてなので。

(佐藤) あの、私もよくシステム開発って経験がなかったので、時々わからない言葉とか、わからないシステムの動きとかがあったときも、わかるまで説明してくださるのがめっちゃくちゃありがたくて。

こういうときにこういうのがあるじゃないですかとか、通販のこういうシステムあるじゃないですかとか、世の中にあるものを例に引きながら説明して下さったのは、すごいわかりやすくてありがたかったですね。

リスクアセスメントじゃないけど、こういう危険性ってないですかとか、こういう人ってこういうミスしがちですよとか、そうね、そこ忘れてたっていうのが結構あったので、ご経験に基づいたお話とかってすごい大事だなって思いました。ありがとうございます。

(池波) こうやって一緒に取り組んで一緒にそのブラッシュアップしていただけるのは非常に素晴らしいことだと思っていて、「そこはうちの範疇じゃありません」って結構言われることが多いと思うんですけど、そういうことなくディスカッションさせていただける。

ものすごくいろいろアドバイスいただけ、自分たちも非常に勉強になりますし、個別丁寧に説明であつたりとか、本当にありがたいなと。

---- 他と比較しましたか。

(浅倉) 一番最初に導入するときには、予約サイトとか、そういうところを比較というか、少し話を聞いたりはしたんですけども。何かアプリを作ります、みたいな会社さんとか見たんですけど、価格とか納期とかがすごい大変で、何かまだあんまり決まっていな状態なところへ、すごいしっかり詰めなきゃいけないみたいな、難しいのかなって思います。

---- きもと特急電子設計の、良いところ、悪いところ、ありましたらお願いします。

(立浪) そこは私から。

非常に良い知識とかご経験とかが豊富で、かつ仕事のスタイルとしてなんていうかな、表面的な依頼というよりは、ユーザーの深いところのニーズを探りつつの仕事をされるというところでは本当助かってるんですけど、その一つの副作用というか、木元さんにご理解いただくまでの時間が、ちょっと面倒くさかった。

その辺のところ、よくご理解いただいた上で進めていただいて、結果的にはいいなと思ってんですけど、プロセスの中ではそういったところも感じたことございます。

---- 今後の期待とか要望とかありましたら。

(立浪) これからですね、我々新しいビジネス立ち上げていこうとしています。

今回もう既に二つ案件ご依頼させていただいてるんですけど、本当の意味での、情報管理ツールっていうところから、よりこう技術寄りの話まで両方カバーはしなきゃいけないですね。

そういったところでそれこそ大きなソフト屋さんとか何か頼んじゃうとですねとんでもないことになるので、ぼやっとした段階でも、検討進められるというところで、本当に今後もですね、いろいろご協力いただけるとありがたいなと。

---- ありがとうございました。

ハード+ファーム+クラウド開発が 9万円で。LTE回線、ケース込み。 仕様書不要。

きもと特急電子設計 プロフィール



屋号	きもと特急電子設計
代表	木元 峰之 (きもと みねゆき)
設立	2009年
従業員数	1人 (代表1人でやっています)
住所	150-0002 東京都渋谷区渋谷3-5-16 渋谷3丁目スクエアビル2F (レンタルオフィスですので、アポを取ってからお越しください)
開発室	神奈川県横浜市 (普段はこちらで仕事をしています)
電話	0120-220-447 (打ち合わせ中など出られない場合は、留守電にメッセージをお願いします)
メール	post@kex.jp
ホームページ	https://kex.jp/
扱える技術	回路(ハードウェア)設計: アナログ、デジタル、マイコン、電池など。 プリント基板: 設計、はんだ付けなど。 ソフトウェア開発・ファームウェア開発: アセンブラ、画面・タッチパネル設計、センサー制御、電源制御など。 無線モジュール選定・制御: Wifi、Bluetooth、TWE-Lite独自ファーム、FMCWなど。 通信プロトコル: TCP/IP、MIDI、有線プロトコル設計、無線プロトコル設計など。 サーバ設定: Linux、Dockerなど。 ウェブシステム開発: C言語、php、JavaScript、画像処理、3D座標計算、独自フレームワーク設計など。 スマートフォンアプリ開発: Android、NDKなど。 自動化: PDF生成、データフォーマット変換、実験計画法、makefile、自動テスト、バーコード処理など。 ※大事なのはお客様のゴールですので、AIといった手段に囚われず、適切な技術を組み合わせてご提案します。